

穂 学

平成29年度

広州日本人学校学校便り

[No. 8]

平成29年10月17日(火)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

1年間の成長を実感

校長 丸本 亙

9月19日から22日にかけて、3泊4日で中学部2年生が北京に修学旅行に出かけました。この中学2年生とは、昨年1年生の時に深圳へ宿泊体験学習に出かけており、様子が分かっていたので、今回も中学部2年生の修学旅行に引率するのをとても楽しみにしていました。中学生が、学校や家庭を離れ自分たちが主体となって生活する中で、どんな素顔を見せてくれるか。また、どの様に率先して行動するのか、そして、1年の間にどのくらい成長しているのか興味津々で出かけました。

集合は中信ビルに7時30分。3泊4日の修学旅行に期待いっぱいの顔で集合してきました。北京についての1日目、最初の見学場所は頤和園。「頤和」とは、静かに休養し、心穏やかにするという意味だそうで、290万平方キロメートルの広大な敷地の中に、大変美しい建物や池がある清王朝時代の皇室庭園を見学しました。

2日目は、明の十三陵を午前中に見学し、午後は修学旅行のメインとも言える万里の長城に向かいました。八達嶺長城では、グループで行動し、どのグループも急な男坂を選択していましたが、長い階段を励まし合いながら登っている姿が微笑ましく感じました。その後、長城修復体験も行いました。PM2.5がみじんも感じられない素晴らしく青く透き通った空が印象的でした。

3日目は、天安門広場と故宮を見学し、その広さに圧倒されていました。午後には、王府井へ移動し、グループでお土産物を買う時間が設けられました。400元のお小遣いで誰に何を買って帰るか考えながら、多くの店を行ったり来たりして、あっという間に1時間半の時間が過ぎてしまいました。お土産物を搜しているときの様子は、小さな子どもに戻ったように無邪気な顔で本当に楽しそうでした。

広州へ帰る4日目は、人力車（自転車で引っ張る物）に乗って、北京の古い町並みである胡同に移動しました。四合院造りの古い建物が並ぶ中を歩きながら、普段高いビルの多くある都会で生活している生徒たちは、どんなことを感じたのでしょうか。

見学の時間にガイドさんの話を真剣にしっかりと聞き、メモを取ってまとめている、そんな姿を見て、深圳体験学習からの1年の成長を強く感じました。また、修学旅行の中でも多くの体験を積み、さらに一回り大きく成長したように感じました。

きっと、この修学旅行での体験を活かし、今後の学校生活でも中学3年生からバトンを受け取り、学校のため下級生のために頑張る姿が、いろいろな場面で見られる事と思います。大変有意義で、成長を感じることができた中学部修学旅行になったと思っています。

学習発表会が数日後に迫ってきました。各学年、いろいろと工夫し、みんなが主役になれるように練習に熱が入っています。どうぞ楽しみにして、学校へ足を運んでください。お待ちしております。

中2 北京修学旅行 9月19日～9月22日



避難訓練

10月10日避難を行いました。今回の訓練は、昼休みに不審者が侵入したことを想定して行われました。警報が鳴った時には、グラウンドや教室など、児童・生徒はそれぞれ別の場所にいましたが、放送の指示を聞き、体育館へ速やかに移動することができました。校長先生からの講評の際に、「自分の命は自分で守る」と言うお話がありました、非常時に自分がどのような行動を取るべきかしっかり考え、訓練したことを身につけていきましょう。